

品川区職員派遣～富岡町復興にむけて～



品川区は平成 25 年度から東日本大震災の被災地である福島県富岡町（郡山事務所）へ、区職員を 1 名長期派遣することになり、平成 28 年度も職員派遣を継続しております。

平成 26 年度の派遣職員は、「富岡町の方々の心に寄りそう姿勢で全力で職務に励みます」と決意表明し、被災地の復興のため業務を行いました。

品川区と富岡町とはニュージーランド・オークランド市とそれぞれ国際友好都市であることが縁となり、災害時における相互援助協定を締結しています。

平成 26 年度 富岡町への派遣発令式の様子



歴史文化
を守る

町内に残る史資料や震災遺構（遺産）を守るため、平成 26 年 6 月に「歴史文化等保全プロジェクトチーム」を立ち上げました。

富岡町健康福祉課 田邊貴裕
〔平成 26 年 4 月、派遣〕

私は健康福祉課に所属し、障害者支援業務などを担当しました。

富岡町では、福島第一原発における放射線の影響により、町が丸ごと避難している状況が、震災から 4 年半過ぎた今でも変わらず、他の被災地に比べ復興が著しく遅れています。

全てを失い避難している中で、一日一日復興に向け、皆力強く進んでいます。そしてそんな富岡町の職員として、僅かながらも携われたことは大変貴重な経験となりました。被災し、避難されている方々の気持ちをすべて理解することは難しいですが、常に心に寄り添う姿勢を忘れずに、いつの日か、町の人たちと心から楽しめる日が必ず来ることを信じ、今後も支援をしていきたいと思えます。



震災遺産保全活動を行う田邊さん



町民の自宅から救出された史資料